

【令和3年3月現在】

福岡県における農業用ハウス強靱化緊急対策事業取組内容

【経緯】

近年の気象変動や災害多発により、従来被害のなかった地域でも被害が発生していることから、災害被害軽減を図るため、令和2年度までに、講習会等による保守管理の取組を全地域に波及させるとともに、長期にわたって使用されると見込まれるパイプハウスに適切な補強を実施することで、災害被害軽減を図る必要があった。

【福岡県における農業用ハウスの状況】(H28年)

- ・農業用ハウス 2,054ha
- ・うちパイプハウス 1,706ha

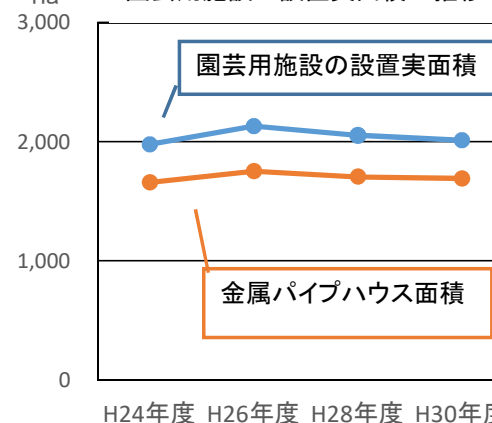
【対策の内容】

災害被害防止マニュアルの作成、保守管理や補強に係る技術指導や、ハウス補強の実施等

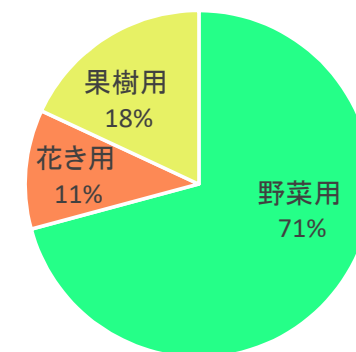
○具体的な取組内容(台風対策)

- ・梁、筋交い補強

園芸用施設の設置実面積の推移



H30 金属パイプハウスの作物別割合



出典: 園芸用施設の設置等の状況 (H30)

※金属パイプハウスは、一般的な農業用パイプハウスを指す。

【令和3年3月現在】

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【福岡県うきは市協議会】

1.地区の概要

- ・うきは市は、ぶどうといちごをはじめとする果樹、野菜の産地であり、農業用ハウスのうち保守管理の対象となる、パイプハウスは3割を占める。
- ・課題は、近年の集中豪雨、台風の上陸・接近のたびに、倒壊など台風関連被害が発生しやすいことによる。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・農業用ハウス 36ha　うちパイプハウス 10.6ha(H28年)
- ・補強が必要なハウス面積 10.6ha

【取組内容】

- ・主な補強の方法:筋交いによる補強、横梁及び陸梁による補強

【補強方法を選んだ理由】

- ・台風等の強風による倒壊防止。

【効果】

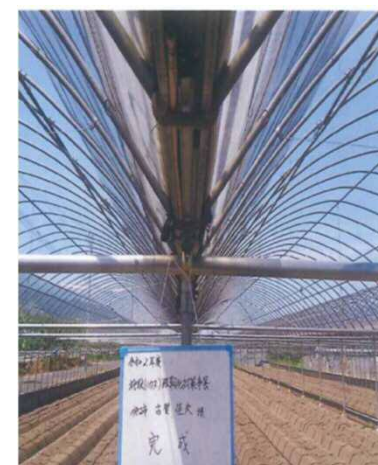
- ・防災・減災意識を高め、災害に強い産地形成が図られた。

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成
- ・保守管理の周知

4.補強の概要

補強名:横梁及び陸梁による補強



【令和3年3月現在】

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【福岡県うきは市協議会】

1.地区の概要

- ・うきは市は、ぶどうといちごをはじめとする果樹、野菜の産地であり、農業用ハウスのうち保守管理の対象となる、パイプハウスは3割を占める。
- ・課題は、近年の集中豪雨、台風の上陸・接近のたびに、倒壊など台風関連被害が発生しやすいことによる。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・農業用ハウス 36ha　うちパイプハウス 10.6ha(H28年)
- ・補強が必要なハウス面積 10.6ha

【取組内容】

- ・主な補強の方法:筋交いによる補強、横梁及び陸梁による補強

【補強方法を選んだ理由】

- ・台風等の強風による倒壊防止。

【効果】

- ・防災・減災意識を高め、災害に強い産地形成が図られた。

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成
- ・保守管理の周知

4.補強の概要

補強名:横梁及び陸梁による補強

